

新たな提言の提出について

- ✓ ここ数年で厚労省改革は進んできたが、引き続き人材流出や超過勤務は続いている。
- ✓ 令和元年提言で示されたが進んでいない項目もあることから、**令和7年8月に提言を提出(別添)**。
- ✓ 提言の取りまとめに当たっては、事務五役と繰り返し意見交換し、前向きな言葉をいただいたことに大変感謝。



新たな提言を踏まえた改革の更なる推進

- ✓ 新たな提言を踏まえ、人事制度改革や業務削減・業務効率化、オフィス改革といった各種事項が停滞せず着実に前に進むよう、厚生労働省改革実行チーム長である**事務次官の責任で定期的に進捗管理・不断の見直しを続ける**べき。
- ✓ また、省内の全職員が厚労省改革の進捗を実感できるよう**幹部から職員に情報発信**すべき。

厚生労働省改革に関する若手チームからの意見②

これから改革を進めるに当たり必要なこと

- ✓ 厚労省改革は**国民のための改革**である。社会構造の変化に伴い、人員不足を前提とした改革を要することも踏まえつつ、一部の幹部による推進のみならず、以下の組織としての改革が必要。

1

官房各課を始めとする各部局が組織として**自律的・自発的**に厚労省改革を立案し、実行し続けること

2

改革工程表に先駆的な企業や自治体等の**外部有識者の意見**を反映させる仕組みを作ること

3

地方支分部局を含めた**オール厚労省**で改革機運を醸成しながら改革を進めること

- ✓ また、若手チームでは、官民で行うピッチコンテストに厚労省改革をテーマに出場する等の取組を実施。組織としても、改革の先に国民がいることを意識しながら、「**厚労省は変わった**」「**厚労省は職員一人一人を大事にする組織である**」と胸を張って言えるよう、**厚労省の変化を適切かつ効果的に発信**すべき。

